

平成 2 8 年 度 同 好 会 事 業 報 告

上高井掃除に学ぶ 同好会 世話係名 浦野康彦先生 会長名 中村真木子

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
7 月 3 1 日	清 掃 サ ミ ッ ト	3 人
8 月 3 日	夏 期 同 好 会	11 人
3 月 1 3 日	小 布 施 中 学 校 掃 除 に 学 ぶ 感 謝 の 会 参 加 予 定	

本年度、掃除に学ぶ同好会は、七名の会員で発足しました。

8月3日に行われた夏期同好会では、小布施中学校を会場に、トイレ掃除を行いました。今回は、「小布施掃除に学ぶ会」の牛山大輔さんと木下豊さんに講師（リーダーとサブリーダー）をお願いしました。会員の他にも、「渋温泉掃除に学ぶ会」から、なんと4人もの若者が駆けつけてくれました。ふだんは渋温泉の旅館で働いているという20代前半の彼・彼女達。掃除前のミーティングで話してくれた「ふだんの仕事にも生かせる掃除の仕方を得て帰りたい」という言葉から、「掃除『に』学ぼう」という姿勢が強く伝わってきて、私たちの背筋ものびるようでした（同好会終了後、「これから仕事です」と爽やかに言い残して車に乗り込んでいきました！）。

リーダーの牛山さんは様々なたとえを使いながら、掃除の「やり方」と「あり方」について教えてくださいました。「私たちは何か課題に直面したとき、どうしても一つの決まった見方でとらえがちですよ。今、目の前の便器をさまざまな角度から見て、汚れを探してみてください。これは、多面的な角度から課題を検討し、解決の糸口を探ることに通じるはずです」、「全部を一度にきれいにしようとするのではなく、一カ所きれいにして、それを広げていくようにしましょう。どんなに大きな問題であったとしても、一点突破をしてそこから少しずつ問題を崩していけばいいのです」などなど、掃除という実践を通して、しかもどんどんきれいになっていく便器を目の前にしながら耳にする言葉は、どれも説得力のあるものでした。

「普段の清掃指導に行き詰まりを感じている・・・」そんな方は、一度参加されてみてはいかがでしょうか。「掃除に学ぶ」ことはたくさんあるように感じています。

(会長 中村真木子)